

平成23年度 あいさつ

西台中学校のホームページをご覧いただきまして、ありがとうございます。

平成21年度に予期せぬ停電によりコンピュータ及びホームページ作成ソフトに不具合が起き、約一年半ホームページの内容が更新できませんでした。大変申し訳ございませんでした。この23年度に復旧させることができ、徐々にですが内容の更新を始めましたので、今後も本校ホームページをご覧いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は板橋区の西側に位置しており、東は志村地区、西は高島平地区に面し、南には首都高速道路、北には都営三田線が通っている場所にあります。また、平成19年度には創立50周年を迎えた歴史と伝統のある学校でもあります。生徒数は7月1日現在437名（1年4学級、2年4学級、3年5学級）です。教職員約40名（含スクールカウンセラー、特別支援教育巡回指導講師、非常勤講師、学習指導講師等）で生徒たちの指導にあたっています。

私は、平成23年4月1日、本校校長として着任いたしました飯塚正人です。板橋区は13年目になりますが、上板橋二中、志村四中と上板橋一中では副校長として勤務していました。

これからは西台中のために、生徒や保護者、地域の期待と信頼に応えられる学校づくりを目指して、教職員一同全力で取り組んで参ります。どうか皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本校ホームページへのご要望・ご意見等がございましたら、渡部孝司副校長までお寄せください。どうぞよろしくお願いいたします。

- (3) ていねいな生徒指導（全員の連携・結集できる指導）
- (4) 次世代につなげ、先人に学ぶ教員集団（自己啓発・相互啓発のできる教員）
- (5) 保護者とともに考え、啓発し合える教員（保護者への啓発に支援できる教員）

4 今年度の具体的な取り組み

(1) 生徒指導（健全育成）の徹底

- ① **人権に配慮**した指導（体罰禁止 望ましい言語環境）＝教職員の感性高揚
- ② **時間を守る**＝チャイム授業 チャイム終礼 チャイム着席
- ③ **身だしなみを整える**＝日常の指導 継続指導
- ④ **元気なあいさつ**＝教職員の明るく元気な声かけ、あいさつ
- ⑤ きれいな学校＝清掃の徹底、生徒会活動 校内ボランティア 花のある学校
- ⑥ **基本的な躰と規範意識の育成**＝全校朝礼、学年朝礼の有効利用
- ⑦ **不登校生徒など様々な課題を抱えた生徒への対応**
 - ・ 家庭と緊密な連絡（担任・学年等で）
＝学校と家庭の**つながりが切れない**対応（電話連絡 家庭訪問 面談）
＝担任へのフォロー体制（学年 生活指導部 教育相談）
 - ・ S Cや教育相談所、子供家庭支援センター等、関係諸機関との連携
- ⑧ **生徒の自主的活動の育成**
 - ・ 実行委員 ボランティア活動の推進
- ⑨ **問題行動への適切な対応**
 - ・ 日頃からの情報収集と情報交換＝報告・連絡・相談・記録＝組織的な対応と連携
 - ・ 適切な初期対応 指導の完結

(2) 教育課程実施にあたって

- ① **基礎学力の徹底と遅達生徒への指導・授業の具体化**
授業の工夫 学習会や補習の工夫 授業時間確保への工夫
 - ・ 授業改善＝よりわかる授業 より楽しい授業 より動きのある授業
 - ・ 落ち着いた環境と言語環境の整備 言語活動の重視
 - ・ 意図的計画的な指導 朝読書や朝学習の励行
 - ・ **フィードバック学習の充実**
- ② 教科指導の改善
 - ・ 基礎、基本を徹底的に鍛える
 - ・ **つながりを考えさせる授業**
 - ・ **感動、発見、驚きのある指導展開**（心身の動きのある授業）
＝授業規律の徹底＝授業時間は生活指導の原点＝生徒状況の初期確認
- ③ 総合的な学習の時間
 - ・ 体験的な学習（職場体験、農業体験、桜草栽培等）の体系化
＝「**生きる力の育成**」を主課題とし、**生きる力の重要な指導の場とする**
- ④ 道徳
 - ・ **授業の確保と道徳の時間を要**とした多様な指導の実践
 - ・ 道徳地区公開講座の充実（全学級での授業公開）
 - ・ 道徳的実践力を高める

⑤ キャリア教育

・ **三年間を見通し、体験学習を柱とした指導計画**に基づく実践・検証・改善

1年：社会人に聴く会 2年：職場体験（職場実習） 3年：高校訪問 体系の検証

(3) 特別支援教育

- ① 特別に支援が必要な生徒の実態把握に努め、S C及び外部機関等の助言を生かしながら適切な指導を進める。
- ② 特別支援教育コーディネーターを中心として、全校体制で取り組む。
- ③ 特別支援教育に関する情報収集に努め、指導に生かしていく。

(4) 保幼小中連携

- ① 通学区域方式をとり、円滑な接続を目指して進める。
- ② 教科会と分科会（学習習慣・生活習慣）を設け、児童生徒の交流や体験を進める。

(5) 研修の充実

実践的研究を行い、**今年度の発表**につなげる。

① 教育課程の実践研究＝**研究授業の推進と定着 新教育課程への準備**

- ・「つながりに学び心を動かす」授業実践
- ・基礎基本を定着させる授業、指導方法の工夫、実践

② **評価**の改善の計画

- ・評価法＝**指導計画と連動した評価方法・評価資料・評価集約**
- ・開示対応の研究・実践＝**学校としての説明責任**が果たせる評価運営

③ 情報実務、情報教育の推進

- ・評価や教務に関する情報機器活用力 授業に関する情報機器活用力
- ・「つながりに学び心動かす」教育計画と実践（行事の連携や意味づけ）

(6) 学校経営への参画について

- ① 常に西台中をより発展させるための課題を意識し、建設的な指導法、組織、アイデアを考え、機会を捉えて、学年や分掌等→運営委員会→職員会議の流れで提案していく。
- ② 「一人一案」を心がけ、自分が関わる組織や責任分担において、学校経営上の建設的な提案が示せるよう、自分なりのアイデアを考える。
- ③ 全員が校内連携の発信者、運営者として十分コミュニケーションをはかる。
- ④ 起案決済と文書作成については、作成担当者→主任→副校長→校長という流れで進める。

(7) 教育公務員としての自覚

- ① 職務の自覚と報告、連絡、相談の推進。
- ② 会計処理等でのサービス事故を未然に防ぐため「教職員のための学校私費会計事務の手引き」等をもとに、チェック体制の確認と見直しを行い、その徹底をはかる。
- ③ U S B等の情報機器の扱いに注意を払い、情報管理の徹底に努める。
- ④ 服務規律（勤務時間、休暇処理、出勤簿、旅行届、通勤届・通勤経路、自動車・バイク通勤等）遵守の徹底をはかる。セクハラ・体罰の厳禁。
- ⑤ 節電、節水に心がけ、光熱費、郵送料、電話代等でのコスト意識を高める。
- ⑥ 接客、電話での応答等、接遇への気配りを意識する。